

## 第13講 現代史の転換：ソ連邦の崩壊

### ロシア革命

帝政の崩壊：軍事的敗北と軍隊の瓦解・革命化・食糧危機

都市部における資本主義の浸透：都市労働者層の増大

農村部における農民層分解：富農層と貧農層の分解

1917 三月革命：帝政の崩壊と臨時政府

四月テーゼ：ボルシェヴィキの攻勢

七月蜂起：ボルシェヴィキの後退

コルニーロフの乱：ボルシェヴィキの復活

十一月革命：臨時政府の崩壊

### ボルシェヴィキ一党独裁と内戦

一党独裁体制の確立と国家経済の再建

1918 憲法制定議会の解散

内戦（～21）

戦時共産主義

1922 ネップ（新経済政策）

1923 ソ連邦成立（～91）

### スターリン独裁と計画経済

個人崇拜と計画経済体制の浸透

1924 レーニンの死

1928 第一次五カ年計画

1929 トロツキー追放

1936 血の粛正

### 第二次世界大戦と超大国への道

祖国防衛と巨大な軍事力・国際的地位の上昇

1941 独ソ戦勃発

1943 テヘラン会談

1945 ヤルタ会談

ベルリン占領

国際連合安全保障理事会常任理事国

ポツダム会談

## 対日参戦

東欧における人民民主主義体制（～49～89）

### 冷戦体制の構築と社会主義陣営の分裂

軍拡の負担と農業の低迷・穀物輸入の対米依存の増大

1947 コミンフォルム（共産党情報局）（～56）

1949 コメコン（東欧経済相互援助会議）（～91）

1955 ワルシャワ条約機構（～91）

1956 ソ連共産党第20回大会

スターリン批判と平和共存

中ソ論争の勃発

1962 キューバ危機

1963 部分的各実験停止条約

1969 珍宝島（ダマンスキー島）事件

1972 ニクソン訪中

### 計画経済の行き詰まりとペレストロイカ

生産の非効率と農業の低迷・経済および産業技術の停滞

1980 ポーランドにおける自主管理労組「連帯」

1985 ゴルバチョフのペレストロイカ（改革）

グラスノスチ（情報公開）と新思考外交

1987 INF 全廃条約

1988 新ベオグラード宣言（ブレジネフ・ドクトリンの否定）

アフガニスタン撤退

1989 マルタ島会談

東欧革命

1990 一党独裁の放棄

1991 保守派クーデタ

ソ連共産党解散

独立国家共同体